

## 令和元年度 東京都優秀技能者（東京マイスター）受賞者一覧

表彰者数:40名（男性:35名、女性5名） 平均年齢:56.8歳（最年長81歳、最年少40歳）

※年齢は令和元年11月1日現在。

職種	ふりがな 氏名	所属名	性別	年齢	技能・功績の概要
旋盤工	ゆのくち しげる 湯ノ口 繁	株式会社 ムサシノキカイ 東京工場	男	70	金属鋼管加工に関する技能に優れ、旋盤によるキー溝加工、長尺鋼管外径の振動防止用治具の考案、チャック側偏芯取付セットによるバランス取りの改善及び旋盤のセンタリング保持具の実用新案登録等、幾多の考案の改善を行い、生産効率の増進、安全確保等に寄与している。一級機械技能士・職業訓練指導員免許を有し、日本人だけでなく、外国人労働者の加工技術向上のため、工作機械の教育指導を行うなど、後進技能者の指導・育成に貢献している。
板金工	おけたに てるあき 桶谷 輝明	桶谷工芸	男	76	鍛金の技術で、銀製品を専門に手がけ、シェイカーやビアカップなどの食器類や、装身具を58年にわたり製作してきた。伝統的技術を伝承する技能者として、平成30年度荒川区指定無形文化財（工芸技術）保持者に認定。荒川区伝統工芸技術保存会の役員として、あらかわの伝統技術展や学校職人教室など、区と共催の事業に意欲的に参加し、鍛金技術の公開・普及・継承に貢献している。
ばね製造工	しおざわ たかし 塩沢 孝之	精発ばね工業 株式会社	男	47	金属塑性加工に長年従事し培った知識・高い分析力を活かし、世界で初めて採用されたBi-LEDヘッドランプのコア部品であるヘッドランプシェードの開発から量産を実現させた。その他にも様々な開発を行っている。1級ばね技能士（線、板）を有し、技能検定主席検定委員として後進技術者の指導・育成にも貢献している。
かざり職	いちのたに ていいち 一ノ谷 禎一	一ノ谷鋳工芸	男	52	かざり金具製作における高い技術を有し、特に社寺用かざり金具の「透かし彫り」「毛彫り」「肉彫り」の技能に秀でた能力を発揮するとともに、時代考証を見極め熟達した古典技能を併せ持ち、文化財の修復を手掛けるなど業界の発展に寄与している。また、伝統の技術を生かしながら現代に適したオリジナル製品等、新商品開発にも意欲的である。
産業用機械 組立工	かしわざき よしひろ 柏崎 欣宏	株式会社 日立製作所 中央研究所	男	52	機械機構装置組立に関する技能に優れ、内面面取りカッター、薄板ケガキ、細穴内面面取りなどの作業治具の考案・作製や作業の工夫・改善を行い、業務効率の向上、安全確保に寄与した。また、後進技能者の指導・育成にも尽力している。
電動機組立 ・調整工	そうま じゅん 相馬 純	東芝インフラシステムズ 株式会社府中事業所	男	47	車両用主電動機及びエレベーター用巻上機の総組立に従事し、台北101や東京スカイツリー、日本一高いビル阿倍野ハルカスなど新規組立技術を必要とする超大型巻上機組立と作業員に対する指導など作業を纏める高い技能を有している。後継者への指導育成では、国家技能検定取得の推進活動や直接指導により、数多くの合格者を輩出している。また、国内・海外における技能指導（主電動機、エレベーター用巻上機組立）において、品質管理を含めた指導を実践し、多大な貢献をしている。
レーザー加工機 オペレーター	おまた けいいち 小俣 恵一	株式会社 リップス・ワークス	男	55	レーザー加工が産業化した初期の段階から、レーザー加工一筋に30年以上技術を磨き、レーザーの微細加工への利用の道筋を開いた。豊富な経験と卓越した技術力に裏打ちされた日本トップレベルのレーザー微細加工技術は幅広い業界の顧客から信頼を得ている。また、長年の経験で蓄積されたノウハウのデータベース化、見える化を推進、論文として発表する等後進の指導・育成にも尽力している。
電気配線工事 作業員	くぼた ひろゆき 久保田 弘之	株式会社関電工	男	41	入社以来、屋内線電気設備工事の施工に23年間従事している。中央職業能力開発協会主催の第35回、36回技能五輪全国大会に出場し、全国第1位及び3位の成績を収めた。金属配管曲げ加工技術及び合成樹脂管曲げ加工の正確さと早さをあわせ持ち、その高い技能力と経験を評価され、13年間技能五輪選手育成指導員を務め、数多くのメダリストを輩出するなど、後進の指導・育成にも尽力している。
友禅染工	たなべ けいこ 田邊 慶子	染色工房 慶昂	女	68	東京手描友禅の主となる製造工程の内、一部の工程だけではなく、構想・図案・下絵・糸目糊置き・地入・友禅挿し・糊置伏せ・地染（引染）・仕上げの複数工程の技術・技法に優れ、分業ではない一貫作業での制作は、当人独自の作風を確立している。組合及び伝統工芸士会の役員として、友禅教室を開催し、指導するなど、後継者育成事業に積極的に参画し指導・育成に貢献した。
染物職	おくだ ひろのぶ 奥田 博伸	株式会社 奥田染工場	男	40	シルクスクリーンプリント（捺染）を中心とした繊維全般に対する染色技術に優れ、デザイナー等の要求に合わせて、鉄粉による染め技法の開発。また、天然染料のプリントや錆染め等の各種試作と開発。藍染めによる捺染技術、のり流し、多種抜染技術、着色塩縮技術、特殊染料によるプリントなど、数多くの染色技術を開発、保有及び継承している。後進に対する技術の指導・育成や同業他社への技術提供なども行っている。また全国産地との連携も行っており、染色に限らず、繊維業界全体の知識も保有している。

職種	ふりがな 氏名	所属名	性別	年齢	技能・功績の概要
染色仕上工	やまもと かつ 山本 活	繁伊	男	52	組合に於いて、若くから理事を務め、現在は副理事長を務めている。技能グランプリ大会に東京都代表として、3度出場し、敢闘賞を受賞している。仕事においては、3代目として、「ふんわり仕上げ」と呼ばれる先代から継承した技術を持ち合わせ、着物の洗いを中心に仕事をしている。利用者の信頼も厚く、評価されている。工場見学会やしみぬき勉強会を開催し、若い染織人との交流を図るなど、後進の育成・指導に尽力している。
寝具仕立工	つづき けんいち 都築 建一	和泉屋製綿所	男	65	円形座布団の仕立て方法として、周囲のわたの張り出し、中央部分の厚さ等のバランスを考え、長時間座っていても疲れにくい円形座布団を作るなど、各種の布団作りにあたり製品の開発、考案をし、生産能率の増進・向上に貢献している。一級技能士として製作活動に励み、後進技能者の指導・育成に尽力し、特に円形座布団製作技術については、極めて優秀な製品を製作する技術を有している。
和服仕立職	なかやま たけし 中山 健	着物仕立処 中山和裁	男	48	和裁全般の仕立てはもとより、舞踊・芸妓用引着の仕立てには定評がある。着やすく、踊りやすく、また裾さばきが美しく見えるよう裾フキの入れ方等に工夫を凝らし、その技術は高い評価を得ている。また伝統技能の継承・認識・理解を深めてもらうため、「一般社団法人大田区伝統工芸発展の会」を立ち上げた。区内の小学校を始め、羽田空港や区役所など公共の場を活用しながら、実演や体験を行うなど、積極的に活動している。
和服仕立職	おぜき みえこ 小関 三枝子	小関和裁師範学舎	女	62	和裁と洋裁を組み合わせるなど、幾多の新技法を考案し後進に伝えるなど業界発展にも貢献した。東京都主催の「ものづくり匠の技の祭典」には第1回より参加し実演や体験教室などを通じて、国内外の人々へ日本の技能の素晴らしさを広めている。東京都の「職人塾」にも第1回から協力し、多くの若者・後継者育成に貢献している。地元三鷹市長から後進の指導、市民生活の向上に寄与している功績に対し「技能功労者」として表彰されるなど、誰もが他の技能者の模範と認める技能と指導力の持ち主である。
和服仕立職 技能指導	ふるおや かずみ 古尾谷 一心	有限会社田園和裁	男	43	種々の和服仕立てに従事し培った知識・技能に優れ、現代の体型にあった袴の研究、薄物コート特殊縫製を薄物着物・羽織への応用発展を行っている。イベントなどで実演や来場者に向けての小物づくり指導など和裁のPR活動をし、和裁業界の発展に貢献している。また、技能検定委員を10年以上務めている経験を活かし、縫製の技術を伝えるなど、後進技能者の指導・育成に貢献している。
左官	よしはら としお 吉原 敏雄	吉原左官工業所	男	54	古来からの左官伝統工法を継承しつつ、寺社仏閣の漆喰仕上げ、民家の珪藻土仕上げ、磨き壁等に卓越した技術を発揮している。また、技能検定架台の改善に尽力する。さらに組合活動を通して、左官業界の活性化、後進技能者の育成、指導に尽力している。
建築工事防水工	すずき たかひろ 鈴木 崇浩	株式会社 鈴木乃防水耐火板	男	61	長年、コンクリート構造物の防水工事に従事した経験から、高度で質の高い防水工事を提供、現場の状況に最適な施工方法を提案することができる。技能検定の防水施工(ウレタン系塗膜防水作業)の中央技能検定委員・東京都検定委員を務め、その功績により、東京都・東京都職業能力開発協会・中央職業能力開発協会・厚生労働大臣より、功労賞を授与され、その功績は大きなものがある。
植木職	かとう てるあき 加藤 輝昭	有限会社加藤園	男	65	伝統技術を自ら用いているのはもちろん、現代の庭に合うように独特の感性で現代版へと昇華させる技法を持つ。伝統的な版築土塀を現代版にアレンジしたり、近年減少している竹垣も時代に合った嗜好・仕様にアレンジするなどその技術は造園業界において著名な存在である。また、技能五輪全国大会では競技委員として、国際大会では課題及び審査項目の検討、若年者ものづくり競技大会では競技主査として協力するなど、後進の教育・造園業界の発展に大きく貢献している。
ガラス研ま工	やまだ まさあき 山田 真照	玻璃匠 山田硝子	男	46	江戸切子の加工に卓越した技術を有し、特に硝子の表面を薄く削り、動植物を描く「花切子」を手掛ける数少ない職人である。また、優れたデザインは多方面で高い評価を受け、オリジナル紋様の制作や他業種等とのコラボレーションなどにも積極的に取り組んでいる。さらに、技能の公開等、伝統技能の普及にも大きく貢献している。
石研ま工	やまだ いずみ 山田 泉	株式会社 東京ダイヤモンド 工具製作所本社	男	60	ダイヤモンド切削工具の製造に長年従事し、具体的には研磨加工で刃先のダイヤモンドをサブミクロン(10000分の1mm)精度に仕上げる技能により日本製のテレビや液晶ディスプレイの高精細化を実現させる光学フィルム用金型等、数多くの顧客に提供し、日本の映像機器の性能向上に寄与してきた。また、同人の匠の技能を次世代に確実に引き継いでいる。
木製建具製造工	たなか まつお 田中 松夫	江戸組子建松	男	76	独学で長年にわたり組子細工の技能を研究し、伝統の江戸組子製法を守り続けている。平成18年には、江戸川区無形文化財保持者となり、確かな技術が評価されている。60年以上職人として活躍する今もなお、美大生のデザインとコラボし、グッドデザイン賞を受賞するなど、新製品開発に意欲的に取り組んでいる。また、習得した技能を継承するため後継者育成に尽力しながら、「江戸組子」を国内外の幅広い世代に発信し、日本の伝統文化の普及・発展に尽力している。

職種	ふりがな 氏名	所属名	性別	年齢	技能・功績の概要
理容師	いなば たかひろ 稲葉 孝博	ヘア・ライフ・イナバ	男	58	理容師として優秀な技能を有し、多様化する消費者ニーズへの対応を図るため、カット技法及びカラーリング方法にかかる技術の体系化と確立に努めるとともに、後進技能者の指導育成に貢献した。とくにその時代が求めるヘアカラーとヘアスタイルを創作する技能は、業界の第一人者である。
衣装着付師	ゆい きえこ 由井 紀恵子	美容室 マーチ	女	66	着付帯結びの技術指導をはじめ、ニュー帯結びの創作・発表、そして特に、成人式や自装着付に関する幅広い技能を持ち、成人式着付の為に10分帯を創作するなど業界のために最大限に活用している。 平成7年から東京美容家集団において、着付師に向けた実技講習を行っており、現在では最高指導員として、後進指導に貢献している。講習では、着付師の育成を目的としているため、入門から上級、コンテスト向けから営業まで幅広く指導しており、若手の着付師のほとんどが氏の講習を受講して技術を高めている。
日本料理調理人	まつしま とししろ 松島 俊白	株式会社 ディーアール「おもき」	男	61	日本料理の伝統技術を踏まえながら創業百有余年の老舗「龍名館」一筋に40年、調理業務を全うし、茶殻を再利用し甘辛く、焚いた佃煮などを考案した。調理技能士として、食育推進全国大会に参加し、日本料理ブースにおいて、世界無形文化遺産に登録された季節の会席料理を出品し、日本料理の魅力をアピールした。技能五輪全国大会の東京都地区予選に向けた指導に尽力し、後進の育成に貢献している。
日本料理調理人	はが まさみつ 羽賀 正光	ホテル マリナーズコート	男	63	長年の経験によって培われた高い調理技術を基に、四季折々の素材を活かして調理する技能に優れている。現職に就いてからは、捕鯨、鯨食の歴史を勉強、鯨肉の部位、其々に特性を生かした調理法を考案し、その技法を広く紹介する等、後進の指導育成に貢献した。「鯨料理」に於いて第一人者と言われている。
日本料理調理人	えだ てるみ 江田 輝美	かんぼの宿 青梅	男	59	調理技術の研鑽に努め、京料理の技能に習練し、喰切料理と会席料理の技能も習得して、客層の嗜好の変化に対応しつつ、伝統的な日本料理に創意工夫を加え現代的な感覚の素材の組み合わせによる効率的な調理法によるホテルでも御腕の腕種としても大量調理できるスッポンの黄身糝薯を開発している。
バーテンダー	うへの ひでつぐ 上野 秀嗣	バー ハイファイブ	男	51	バーテンダーとして長年、技術と接客の向上に励み優れた技能を有している。 1本の氷柱からナイフのみを使いダイヤモンド型の氷に仕上げるアイスカービングを考案し新しいスタイル拡大に寄与した。日本人として初めてインターナショナルバーテンダーオブザイヤーを受賞し世界No.1の称号を得ている。世界各国からの依頼により日本の代表として日本のバーテンダーの技術や歴史をセミナーで披露しており称賛を浴びている。
バーテンダー	たかの かつや 高野 勝矢	株式会社 京王プラザホテル	男	47	HBA協会マスターバーテンダーとして、若手の育成に従事している。カクテル創作(商品化)をはじめ企画力も高く、バー営業の業績はもとより、若手バーテンダーの手本として、指導力を発揮し、優秀なバーテンダーを輩出させている。国内・海外の様々な技能競技大会にて優秀な成績を残している。実績としては、平成9、12、23、26年に国内大会優勝、平成26年に世界大会出場している。
飲食物給仕人	おおさわ まもる 大澤 守	株式会社 プリンスホテル 品川プリンスホテル	男	48	技能検定に加え、全技連マイスターやシニアソムリエの資格を有している。第23回技能グランプリ(レストランサービス部門)では優勝経験あり。国家検定であるレストランサービス技能試験で、長年にわたり試験委員のリーダーとして技能審査や試験問題作成にあたり、若い検定委員の育成にも努めている。
家具類内張工	ひらやま さとし 平山 智	立川椅子工芸	男	40	椅子張りにおける型取り、柄合わせ、手縫い、縫製の技術力が高く、顧客ニーズには柔軟に対応できるなど優れた椅子張り技能と適応力を有している。会の運営に10年積極的な行動で携わり、関係組合から感謝状、表彰状を受けている。協議会等主催の行事に積極的に参加し、ステージで実演を行うなど椅子張り技能のPRに貢献している。組合参加イベントにて椅子張り体験指導を行い、後進技能者への指導に尽力している。
表具師	ひの まさえ 日野 正恵	株式会社 高澤表具店	女	49	永く継承されてきた表具技能を日々研鑽し、現代の建築技術や様式、新しい素材と組み合わせながら、現代のニーズに合わせた施工を心掛け、仕事に取り組んでいる。技術・技能を身に着けるために職業訓練校に通い、自身の技術を高める努力を重ねてきた。自らの学びと多くの先輩表具師から学んだ表装技術・技法を用いて、伝統的な壁張り施工を数多く手掛けている。また、自らの技術を一人でも多くの職人が習得できるよう細やかな指導にも余念がない。
室内装飾工	いがらし こういち 五十嵐 浩一	有限会社 インターテック	男	56	塩ビタイル・長尺シート・カーペットなどに内装床仕上げ施工に関する技能に優れ、工具や独自の施工法を開発し高品質の床仕上げを提供している。床材メーカーと改善商品の開発や施工法のアドバイスを行っている。後継技能者の指導・育成を行うとともに技能教本を作成し貢献している。作業労力を分析し、ポイント化した積算システムを開発し、工程管理や技能者の作業配置に利用し高い評価を受けている。

職種	ふりがな 氏名	所属名	性別	年齢	技能・功績の概要
和楽器組立工	むこうやま まさなり 向山 正成	向山楽器店	男	68	48年間、三味線・琴の製作に携わっており、特に伝統技法を用いる「東京三味線」を手作りで製作する職人としては、業界でも希少な存在である。また、低迷する業界発展に後継者育成や体験教室、学校教育の一環の総合的な学習を数多く受け入れ小学校から大学生、外国のインターンシップまで受け入れ学校教育にも努力を惜しまない姿勢が功績の評価に値する。
楽器調整検査工 ・楽器修理工	たご とも 多湖 朋	株式会社ダク	女	54	ドイツの有名メーカーのマイスターの下で学び、伝統的技法と独自の技法を駆使し、丁寧かつ適切な修理を行う優れた技術者である。トロンボーンの音程の高低を生み出す最重要箇所である「スライド」の調整を得意とし、プロ・アマチュアを問わず多くの演奏家から高い評価を得ている。後進技術者への指導・育成に取り組むなど、技術の継承にも積極的であり、業界に貢献している。
ちょうちん製造工	はやかわ ふくお 早川 福男	はや川提灯店	男	57	江戸提灯製作に従事し、手描きにこだわり江戸文字等様々な書体や家紋を提灯のサイズや形に合わせて描く技術を要する。伝統技法を継承しながら家紋から着想を得た斬新なデザインや色彩豊かな模様が施された現代的な作品を手がけ、店舗看板やインテリアとして提灯の新たな用途を提案。豊島区伝統工芸保存会の役員を歴任し、地域の伝統工芸教室の講師を積極的に行うなど地域社会における伝統工芸の普及・啓発に貢献している。
貴金属細工加工工	ほしの たもつ 星野 保	銅銀銅器店	男	62	区内唯一の銅器職人として、時代により変化する需要に対応し、継承する伝統技術を駆使し消費者に最適な製品を提供し続けている。平成11年に台東区の優秀技能者顕彰を受賞している。伝統的な材料、手法を守りつつ、機能性を追求し、消費者の声を反映した現代の生活様式に合う製品開発に取り組んでいる。
貴金属細工加工工	おおつ ひでや 大津 秀弥	株式会社 ミキモト装身具	男	60	貴金属宝飾品の逸品細工及び原型製作に従事。地金細工、ワックス細工、伝統技法等の手作業による技能に加えCADの最新技術を駆使し、毎回異なるデザインを立体的に造形している技能は社内外で認められている。技能検定講師としても熱心に指導し多数の社員を合格に導き、技能水準向上にも貢献している。
印章彫刻工	よした ともひろ 吉田 朋弘	吉田印房	男	50	実用印や書画などに用いられる落款印それぞれの材料による特性の違いと使用目的に合わせた彫刻をする技能に優れている。伝統技術に枠の強化のために傾斜角度をつけて彫刻するなどの現代技法を加え、現代風の文字デザインを取り入れることで質と精度の高い製品を提供。一級印章彫刻技能士として技能グランプリ東京都代表で優秀技能賞を受賞。ものづくりマイスターとして学校訪問や技能フェアでの体験教室で高い指導力を発揮する。
義肢・装具製作工	うすい ふみお 臼井 二美男	公益財団法人 鉄道弘済会 義肢装具サポート センター	男	64	義肢装具士として30年以上、義足製作に携わり、3,000人以上の義足を利用者の身体に合わせて、一つ一つを特注で製作している。道具を使わず的確に足の大きさや特徴を掴む「義肢及び装着部位の採型」をはじめ、あらゆる工程で練達の技術を有する。日本初のスポーツ用義足開発に携わり、多数のパラリンピック選手を輩出。生活用義足でも、妊婦用義足「マタニティ義足」等の新製品を開発。義肢装具サポートセンターの義足研究室長として後継者育成にも取り組む。
洗張工	きたむら きくじ 北村 喜久二	北村洗染所	男	81	50年以上染色業に従事している。区から功労表彰など各種表彰を受けており、功績を認められている。百貨店の社員向けに「きものお手入れ」をテーマに講師を行うなど、後進への指導に尽力している。伝統を受け継ぎ伝えて行く若者たちの模範であり、減少しつつある貴重な現業技術者としての功績は大きい。